

ごみ組成調査の結果から見てきたもの

ごみの分別・リサイクルにご協力を

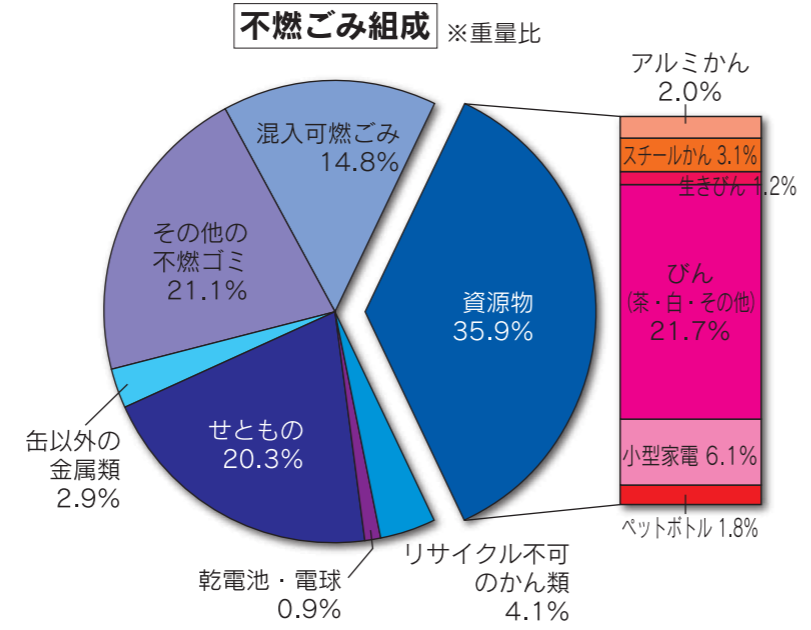
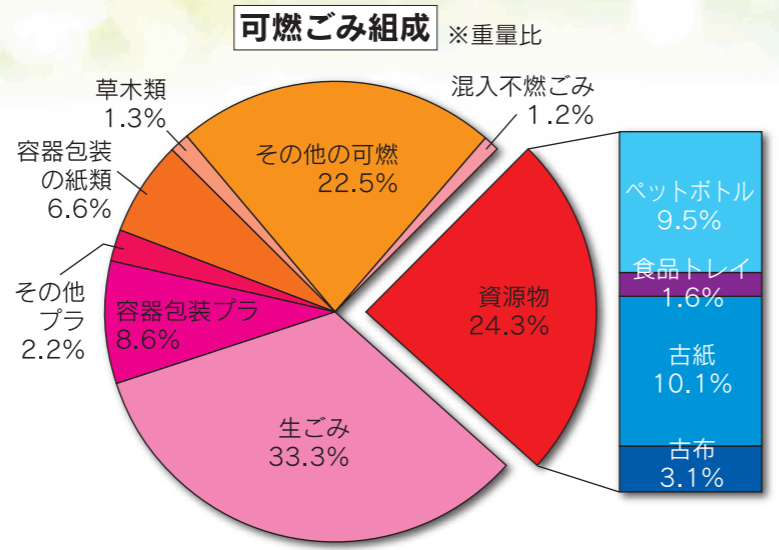
市では毎年1回、市内のごみ集積所を無作為に抽出し、家庭から出されているごみがどの程度分別されているかを調査し、今後の基礎資料を得ることを目的にごみ組成の分析を実施しています。平成29年11月に実施した調査結果は、下記のグラフのとおりです。

■リサイクル可能な「資源ごみ」が約3割も混じっています

平成29年度の調査では、「可燃ごみ」では全体の24.3%、「不燃ごみ」では全体の35.9%ものリサイクル可能な資源ごみが混入されているという結果となりました。

本市のリサイクル率は茨城県内44市町村中7位(平成27年度実績)と近年高い水準を維持していますが、いまだ多くのリサイクル可能なものが可燃ごみ・不燃ごみとして捨てられていることが分かります。

また、「不燃ごみ」では、混入可燃ごみが14.8%を占めており、主にプラスチック類の混入が見受けられました。加えて、収集車の火災の原因にもなるスプレー缶(グラフではリサイクル不可の缶類に該当)には、中身の残っているもの、穴の開いていないものがありました。市では、このようなルールを守られていないものがあつた場合には、ごみ袋に黄色の【回収できませんシール】を貼付し、分別や正しい排出方法の徹底を推進しています。皆さまのご協力をお願いします。



【回収できませんシール】

<p>次の理由により回収できません</p> <p>☐可燃ごみが入っています</p> <p>☐不燃ごみが入っています</p> <p>☐あきかん・あきびんが入っています</p> <p>☐粗大ごみです</p> <p>☐下妻市指定ごみ袋に入っていない</p> <p>☐回収されないごみです()</p> <p>☐回収日が違います</p> <p>☐それ以外の為回収できません()</p>	<p>月 日</p> <p>時 分</p> <p>時 分</p>
--	----------------------------------

下妻市 生活環境課 ☎0296-43-2111

下妻中学校 校舎クロージングセレモニー 「つなぐ49年分のありがとう」

平成30年4月開校の下妻中学校校舎改築工事が順調に進み、開校後に旧校舎は撤去されるため、12月14日、同校第一体育館で「校舎クロージングセレモニー」が開催されました。

セレモニーでは、美術部員たちが校舎中庭に作成した「つなぐ49年分のありがとう」をテーマにした27m×19mの巨大アートの披露や旧校舎49年の歴史をたどるムービーの上映などがされ、旧校舎への感謝の気持ちを表しました。

生徒を代表して瀬出井香穂さん(3年)は「感謝を形にすることは難しいが、みんなの思い出の中に刻まれることで、形はなくなるが思い出になって残る。私たちが旧校舎の最後の生徒になるが、新校舎開校に向けて新たなスタートができるようにしたい」と話しました。



さよなら・ありがとう校舎ムービーを鑑賞する生徒たち



中庭に描かれた巨大アート

前河原地区の築堤護岸工事完了で工事見学会開催

平成27年9月の関東・東北豪雨で大規模な溢水が発生した前河原地区の築堤護岸工事が完了し、工事見学会が12月2日、前河原地先の鬼怒川左岸で開かれ、地域住民など約50人が参加しました。

今回の築堤護岸工事によって、北台川水門から下流の堤防総延長650.5mの区間に、洪水時の水位から50cmほど高くなった堤防が完成し、前河原地区の治水強化が図られました。

今後も、護岸工事などが行われ、平成33年完了予定の鬼怒川緊急プロジェクトは早期完成に向けて進められます。



新たな堤防の完成を喜ぶ参加者たち



完成した前河原地区の堤防

有料広告欄

有料広告欄

問 生活環境課 ☎43-82809
FAX 44-78333